

はじめまして。「野津田・雑木林の会」と申します！

私たちは、長く「地域に里山の風景を残したい」と町田市立野津田公園を中心に活動を続けています。町田市が野津田公園を総合スポーツ公園として計画していた1980年より、自然の宝庫である里山の環境を何とか公園という場に残せないものかと市への請願や提言、自然観察会など種々な活動を展開。1997年に市民の声で計画は見直され、現在、公園の約半分の東側には雑木林、畑、野原が残る里山風景が広がっています。しかし、町田市は2014年に、突如、野津田公園を総合スポーツパークとして再整備する「第二次野津田公園整備基本計画」を発表。いま、Jリーグ施設を中心とした再整備が急ピッチで進められています。私たちは、多くの市民の声で公園に残した心安らく懐かしい風景を次世代に引き継ぎたいと、これまで守られてきた野津田公園ならではの里山の魅力を広く発信し、子どもが自然と出会う場として上手に活用していくことを市に提言しながら、次のような活動を行っています。皆さん、お気軽にご参加ください。



★「森の学校」「里山ワークショップ」

動植物の観察会や生物調査、野あそび体験、簡単クラフト制作など盛りだくさんの内容で、野津田の四季を広く、そして楽しく学べます。春の里山ワークショップでは、身近な野原でヨモギを摘み石臼できな粉を作り、子どもたちと一緒によもぎだんごをつくります。初夏の草いろいろワークショップでは、草で縄をなったり糸を作ったり野草茶を味わったり先人の知恵と技を学びます。

秋の夜の鳴く虫観察会では、虫の声が響き渡るススキ草地～タンポポ草地を歩きます。



★丘の上秋まつり（11月3日 文化の日／1980年スタート）

「この豊かな自然をいつまでもー」と自然保護、子どもの文化、福祉に関わっている“自然を愛する市民団体”約20が野原に集います。手作りや遊びがいっぱいの、のどかなお祭りに年々親子で訪れる人が増えています。この日だけは、公園から焚き火の許可をいただき「焚き火パン」を楽しみます。縄文の味がする「どんぐりもち」は公園のどんぐりを拾って作っています。



★まちだ市民大学、小学校生活科のお手伝い

野津田公園には、雑木林に囲まれた広い野原がいくつもあります。近年野原の急減は驚くほどで、ここに生息する数種の昆虫はすでに絶滅危惧種に指定されています。そんな生態系豊かな野原が今残っている価値を伝えながら、大人も子どもも生き物たちとふれあうお手伝いをしています。



★町田市立中央図書館「小さな自然」展示コーナー

月ごとにテーマを設け、町田の雑木林や野原で見つかる植物、昆虫などの自然に関連する図書と一緒に展示しています。町田市の委託を受けて企画から実際の展示まで行っています。中央図書館 4F・児童書フロアの理科の書架のそばの「小さな自然展示コーナー」までお立ち寄りください。



★「きつねはらっぱ冒険遊び」

なにをあそぶ？～子どもたちが思いっきりやってみよう冒険や挑戦を自由にできる手づくりの遊び場です。木立のある原っぱを走ったり、虫と出会ったり、草花で遊んだり、どろ遊びをしたり、木工をしたり、子どもたちはそれぞれに楽しんでいます。毎月1～2回開催。場所は東入口駐車場近く、野津田球場脇の草地です。



（開催日はホームページ参照。お問合せ TEL・FAX 042-860-0731 鎌上）

★「のづた里山の家」(詳細は Facebook 参照)

2015年秋、野津田公園から歩いて5分の農村伝道神学校の敷地内の平屋をお借りして開設しました。農場の一角もお借りして食物を育て、収穫～調理まで一貫して学ぶ「畑の学校」を開催。 ミニ講演会・上映会、手作りワークショップ、オープンハウスなども開催し、地域の交流拠点として活動しています。



★最新情報は・・・

ホームページを開設しております。

<http://www.nozuta.net/>

会の活動の詳細については以下までおたずねください。

eメール: nozuta.staff@gmail.com

久保 TEL: 080-4295-9308

★機関紙、入会のご案内

機関紙は、「野津田通信」を発行。野津田の自然を愛する方ならどなたでも、ご入会をお待ちしています。郵便振替口座00140-6-27514 野津田・雑木林の会あてに年会費1500円(個人/家族とも)をお振り込みください。会員の方には、活動参加費が割引となります。もちろん、非会員の方も気軽にご参加いただけます。

★野津田公園／のづた里山の家・きつねはらっぱ 地図



©2019 nozuta-park

(町田～図師経由、町田～本町田経由、鶴川～大蔵経由)

至本町田